



2022年3月31日

需給安定化に向けた蓄電池制御に関する 実証実験の開始について

株式会社能勢・豊能まちづくり
オムロン ソーシャルソリューションズ株式会社

株式会社能勢・豊能まちづくり（本社：大阪府豊能郡能勢町、代表取締役社長：榎原 友樹、以下「能勢・豊能まちづくり」）とオムロン ソーシャルソリューションズ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：細井 俊夫、以下「OSS」）は、地域内での需給安定化に向けた、蓄電池最適制御システムの開発に向けて共同で実証実験に取り組むことに合意しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

2050年のカーボンニュートラルの実現に向け、再生可能エネルギーの主力電源化が求められています。安定した電力の供給には発電量と需要量とのバランスを常に保つ必要がありますが、国内での導入割合の高い太陽光発電などの再生可能エネルギーは発電量が季節や天候に左右されやすいため、家庭用蓄電池をはじめとする分散型電源の制御による需給の調整が重要になります。また昨今、エネルギー価格の高騰が深刻化しており、電源保有割合の少ない小売電気事業者において、蓄電池などの分散電源を用いたエネルギーマネジメントのニーズがますます高まっています。

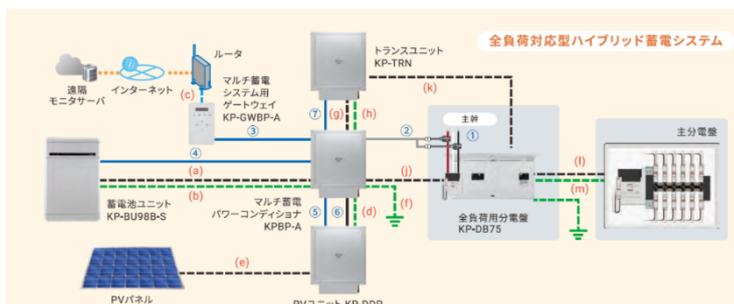
地域新電力会社であり、能勢・豊能エリアでのエネルギーを軸とした地域課題解決に取り組んでいる能勢・豊能まちづくりと蓄電池製造・販売会社である OSS は蓄電池を活用したエネルギーマネジメントの実証実験に共同で取り組むことに合意しました。

実証実験は、能勢町役場に設置した太陽光発電設備の出力は 26.39kW、蓄電池容量は 16.4kWh を活用します。本設備は能勢・豊能まちづくりが 2022 年 1 月に PPA モデル（第三者所有モデル）として能勢町庁舎に導入した設備です。災害時のための蓄電量を確保しつつ、太陽光発電によって発電した電力のうち庁舎内で消費しきれない電力を蓄え、夜間等にも活用できるように運用するなど柔軟な制御を行うためのシステムの有効性を検証することを目指します。

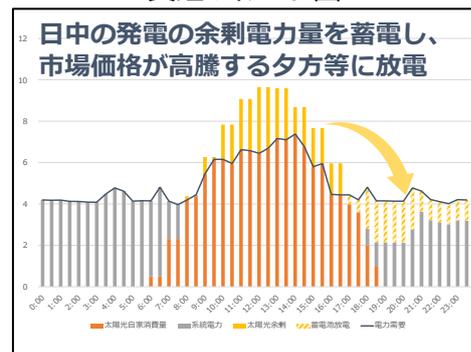
能勢・豊能まちづくりは、公共施設に限らず、実証に協力いただける事業者様やご家庭とともに実証実験の対象範囲を広げ、地域内で発電された電力を可能な限り地域内で有効に活用するシステムへと発展させることによって、系統にも負担の少ない地域再生可能エネルギーシステムの構築を目指します。

OSS は、本サービスの提供を通じて蓄電池の有効利用を推進するとともに、再生可能エネルギーの普及を進め、持続可能な社会づくりに貢献してまいります。

庁舎設置の蓄電システム



実証のイメージ図



■ 本件に関する報道関係からのお問い合わせ先
株式会社 能勢・豊能まちづくり (担当：渡邊)
TEL：080-3319-4757

オムロン ソーシャルソリューションズ株式会社
グループ企画室 経営戦略部
TEL：03-6718-3702

■ 事業に関するお問い合わせ先／一般のお客様からのお問い合わせ先
株式会社 能勢・豊能まちづくり (担当：渡邊)
TEL：080-3319-4757

オムロン ソーシャルソリューションズ株式会社
事業企画部 サービス開発グループ (担当：吉田)
TEL：080-2954-6875